

# 年度経営計画

平成28年度

広島県信用保証協会

# 1 経営方針

広島県信用保証協会

## (1) 業務環境

県内経済は、基幹産業である自動車を中心に輸出が増加しているほか、設備投資も企業業績の回復に伴い緩やかな増加傾向にあります。生産は横ばいですが、中国経済の減速による輸出減少など経済の落ち込みも懸念されます。また、雇用情勢は着実に改善しているものの、人手不足による企業経営への影響も心配される状況にあります。

平成 28 年度も輸出型産業を中心に緩やかな回復基調が続く見通しですが、中国をはじめとする新興国等の海外経済の減速、日本銀行の「マイナス金利」政策の導入や、平成 29 年 4 月に予定されている消費税率の引上げなどが、県内中小企業・小規模事業者（以下、「中小企業等」という。）にどのような影響を及ぼすかを注視し、中小企業等の資金需要に対して、迅速かつ柔軟に対応していく必要があります。

また、現在、国及び全国信用保証協会連合会において、信用保証制度が、真に中小企業等の発展を支える制度となるよう、頑健性かつ持続可能性の確保の視座から抜本的な見直しが進められており、当協会としても、適切に対応していく必要があります。

# 1 経営方針

広島県信用保証協会

## (2) 業務運営方針

このような状況のもと、当協会は「第4次中期事業計画（平成27～29年度）」を基本として、国内外の社会経済情勢の変化も踏まえた取組を推し進め、中小企業等の振興と地域経済の活力ある発展に、引き続き貢献していきます。

このため、中小企業等の資金ニーズに柔軟に応えられるよう、各種保証制度を積極的に活用し保証利用の推進を図ります。

また、地方創生、地域活性化に一層貢献するため、金融機関等関係機関（以下、「金融機関等」という。）との連携を深め、これまで以上に、創業支援や経営支援に注力するほか、求償権回収の最大化にも取り組みます。

さらに、当協会に対する県内中小企業等や関係機関等の信頼が高まるよう、コンプライアンス態勢や経営基盤の強化を図るとともに、組織体制の見直しや人材の育成に取り組みます。

加えて、信用保証制度の見直しについては、当協会としても、積極的に参画するとともに、地域の実態も踏まえつつ、主体的な対応を図ります。

## 2 重点課題

広島県信用保証協会

### 【 保証部門 】

#### (1) 現状認識

県内経済が緩やかな回復基調にある中、中国をはじめとする海外経済の減速や日本銀行の「マイナス金利」政策の影響により、県内企業を取り巻く環境は不透明な状況であり、引き続き中小企業等の多様なニーズに柔軟かつ迅速に対応する必要があります。

また、創業者や中小企業等に対する各種支援を一層推進するため、創業支援事業に係る保証をはじめとした国や県・市町の政策保証を積極的に活用するとともに、「オール広島創業支援ネットワーク」において、当協会も金融支援など期待される役割を担っていく必要があります。

これら、保証推進にあたっては、金融機関等の信用保証制度に対する理解と協力が必要なことから、さらに、積極的に連携強化を図っていく必要があります。

一方、保証審査においては、財務状況や担保に過度に依存することなく、事業実態の把握や成長可能性を適切に評価する等目利きによる保証判断のほか、反社会的勢力等の介在は許さない姿勢を堅持していく必要があります。

## 2 重点課題

広島県信用保証協会

### (2) 具体的な課題

- ア 保証利用の促進
- イ 創業等政策保証の推進
- ウ 関係機関との連携
- エ 適正保証の推進

### (3) 課題解決のための方策

#### ア 保証利用の促進

- (ア) 中小企業等の資金ニーズに迅速に対応するため、各種提携保証制度の積極的な活用や、適宜適切な見直しを行います。
- (イ) 中小企業等の潜在的な成長可能性や将来性等に着目し、これまで以上に、財務状況や担保に過度に依存しない保証を積極的に取り組みます。

## 2 重点課題

### 広島県信用保証協会

#### イ 創業等政策保証の推進

- (ア) 県内の創業促進を図るため、支援機関と金融機関が協力して行う創業に係る保証は柔軟に対応します。
- (イ) ひろしま産業振興機構や日本政策金融公庫と連携し、各種相談会などを通じて、創業前の段階から創業者への支援を行います。
- (ウ) 中小企業等に対する金融の円滑化を図るため、借換保証や経営者保証ガイドライン対応保証等の国の制度や、県・市町の融資制度を積極的に活用します。

#### ウ 関係機関との連携

信用保証制度の周知や中小企業等のニーズの把握などのため、金融機関等との勉強会や情報交換会を開催します。

#### エ 適正保証の推進

- (ア) 反社会的勢力や不正な保証利用を未然に防止するため、警察等関係機関との連携に加え、協会独自の情報収集・蓄積に努めます。
- (イ) 提携保証制度を適正に運用するため、代位弁済の発生状況を継続的にモニタリングします。
- (ウ) 代位弁済に至った事案の原因等を継続的に検証し、保証審査に活用します。

## 2 重点課題

広島県信用保証協会

### 【 期中管理部門 】

#### (1) 現状認識

条件変更残高は減少傾向にあるものの、今後の景気動向等によっては、条件変更の増加、更には代位弁済の増加が懸念されます。

このため、経営改善に前向きに取り組む中小企業者等に対しては、金融機関等と連携し、経営実態を把握するとともに、経営の改善や安定に向けた支援を早期かつ継続的に講じていく必要があります。一方、経営改善が見込まれない先に対しては、当事者や金融機関等と慎重かつ十分な協議を行い、適切に対応していく必要があります。

#### (2) 具体的な課題

- ア 期中支援の強化
- イ 創業後のフォローアップの強化
- ウ 期中管理の徹底

## 2 重点課題

広島県信用保証協会

### (3) 課題解決のための方策

#### ア 期中支援の強化

- (7) 当協会が中心になって、広島県中小企業支援ネットワークや経営サポート会議を開催し、経営改善支援の取組についての情報交換や、経営改善のための金融支援の合意形成を図るなど、地域金融におけるハブ機能を積極的に担っていきます。
- (4) 金融機関と連携して中小企業等の現況把握に努め、必要に応じた支援策を講じるとともに、経営改善に前向きに取り組む中小企業等に対しては、広島県中小企業診断協会と連携した経営診断を実施します。
- (5) 認定支援機関が経営改善計画策定支援を行った中小企業等に対しては、経営改善計画の遂行をサポートします。

#### イ 創業後のフォローアップの強化

創業計画書との乖離や経営上の問題が生じている創業者に対しては、企業訪問などを行い、原因の把握に努めるほか、必要に応じ広島県中小企業診断協会と連携し、中小企業診断士による経営診断を実施して経営課題の早期解決に取り組めます。



## 2 重点課題

広島県信用保証協会

### ウ 期中管理の徹底

返済遅延などにより回収が困難になると思われる事実を予見または認知したときにおいては、早期に金融機関と連携して現況分析に努めます。そのうえで、経営改善が見込まれる先に対して、柔軟に借換保証や条件変更の対応を行い、経営改善が見込まれない先に対しては、代位弁済などの対応を迅速に方針決定します。

## 2 重点課題

広島県信用保証協会

### 【 回収部門 】

#### (1) 現状認識

当協会の求償権回収額は、代位弁済の減少や、無担保、第三者保証人非徴求といった回収資源の乏しい求償権の増加により減少傾向にあります。

今後も、回収の見通しとしては極めて厳しい状況が見込まれるため、よりきめ細かな対応を行うことにより、求償権の実態把握に努め、個々の求償権の実情に応じた方針決定を行い、効率的な回収の最大化に取り組む必要があります。

また、代位弁済後においても、事業継続の可能な中小企業等に対する再生支援にも、柔軟に取り組む必要があります。

#### (2) 具体的な課題

ア 回収の最大化

イ 再生支援への取組

## 2 重点課題

広島県信用保証協会

### (3) 課題解決のための方策

#### ア 回収の最大化

- (7) 実地調査等により求償権先の実態把握を行うとともに、資産調査や交渉経緯などを踏まえて求償権の内容を調査し、個々の求償権の実態を踏まえた方針決定と進捗管理を行います。
- (イ) 求償権の状況に応じ、担保権の行使をはじめとする各種法的手続きを効果的に行います。
- (ウ) 代位弁済の前段階から期中管理部門とより緊密な連携を図り、代位弁済後の早い段階での回収に取り組みます。

#### イ 再生支援への取組

事業再生が見込まれる中小企業等には、関係機関と連携し、求償権の放棄、不等価譲渡あるいは求償権消滅保証を活用するなど再生支援に取り組むとともに、「経営者保証に関するガイドライン」を遵守した対応を行います。

## 2 重点課題

広島県信用保証協会

### 【 その他間接部門 】

#### (1) 現状認識

信用保証協会は、中小企業等の振興と地域経済の活力ある発展に貢献する役割と責任を持ち、これを持続的に果たしていく必要があります。

このため、コンプライアンス態勢の充実、人材の育成、組織の活性化及び経営基盤の強化について引き続き不断の取組が必要となります。

#### (2) 具体的な課題

- ア コンプライアンス態勢の充実
- イ 人材の育成
- ウ 組織の活性化
- エ 経営基盤の強化

## 2 重点課題

広島県信用保証協会

### (3) 課題解決のための方策

#### ア コンプライアンス態勢の充実

- (7) 社会的信頼を確立していくため、コンプライアンスプログラムに基づく取組を着実に実施します。
- (4) 反社会的勢力や不正利用者の排除のため、引き続き、関係機関等との連携を深め情報の収集・蓄積を図るとともに、職員の意識の高揚に努めます。
- (5) 引き続き情報管理の強化に努め、個人情報の保護の徹底を図ります。

#### イ 人材の育成

- (7) 自らの役割を認識し、今後想定される環境の変化や年々複雑かつ多岐にわたる業務に的確に対応できる職員を育成するため、体系的かつ計画的に階層別研修や課題別業務研修などを実施します。
- (4) 全役職員が協会及び各々の部署の目標を自覚し、行動できるよう、引き続き基本理念等の浸透を図ります。

#### ウ 組織の活性化

- (7) 職員の構成バランスに配慮し、適正な組織体制を維持するため、定期的な採用を行います。
- (4) 中小企業等の経営改善や安定に向けた積極的な支援を行うための体制を整備します。

## 2 重点課題

広島県信用保証協会

### エ 経営基盤の強化

- (7) 経営の透明性を高めるため、引き続き、業務内容や事業活動について広報するとともに、財務諸表や経営計画等を公表します。
- (イ) 財政基盤を強化するため、安全性・流動性を考慮した効率的な資産運用に努めます。

### 3 事業計画

広島県信用保証協会

(単位：百万円、%)

	金額	対前年度 計画比	対前年度 実績見込比
保証承諾	280,000	87.5	100.0
保証債務残高	560,000	91.1	95.6
保証債務平均残高	562,694	91.5	94.9
代位弁済	8,000	80.0	148.1
実際回収	2,300	85.2	100.0
求償権残高	2,599	107.1	140.1